

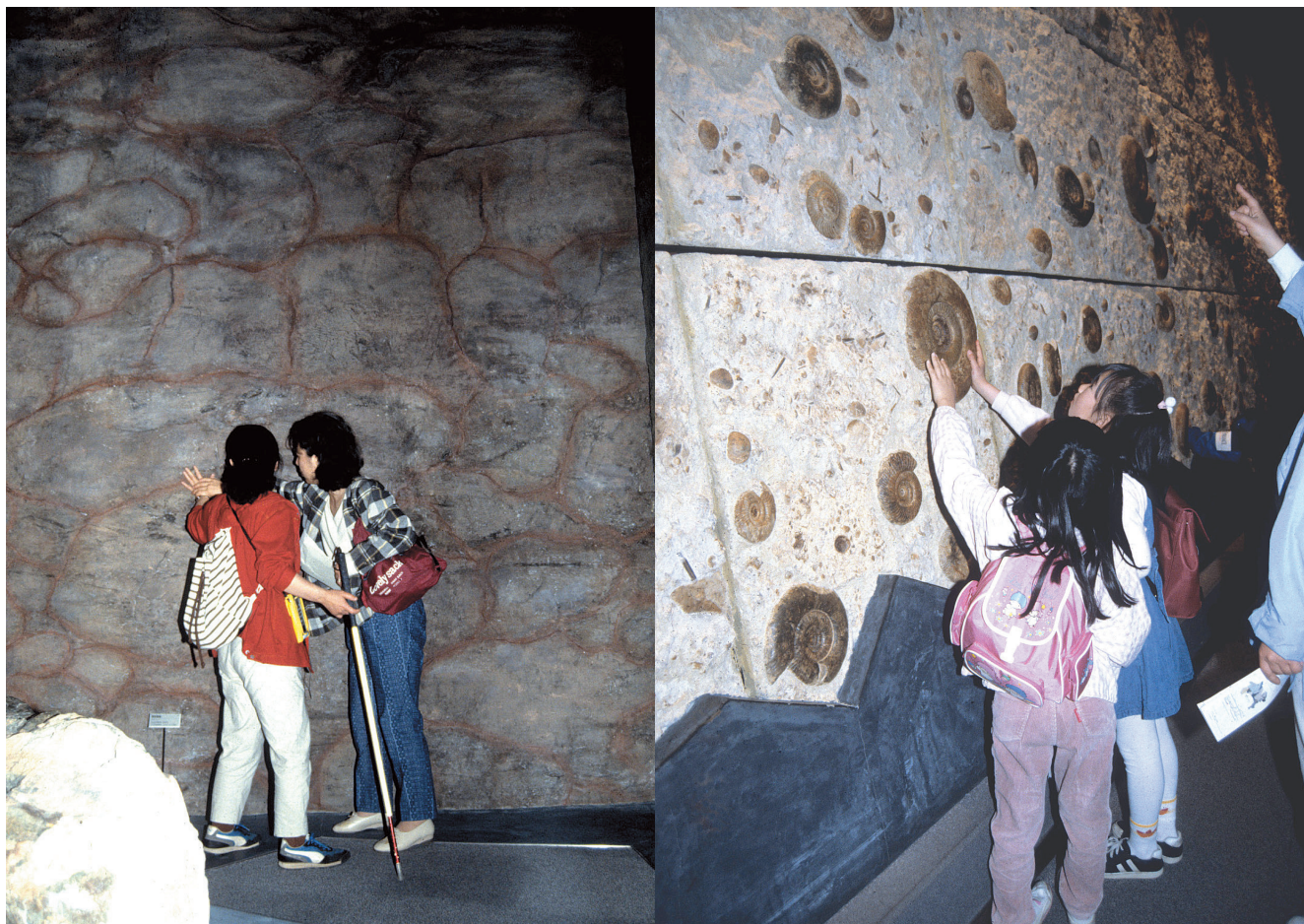
自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 13, No. 4

神奈川県立生命の星・地球博物館

Dec., 2007



ハンズ・オン展示

左：目の不自由な来館者も触って楽しめる「地球が造った景観と岩石—枕状溶岩の壁—」の展示

右：小さな子どもでも触れる位置にある「アンモナイトの壁」の展示

おくのかよこ
奥野花代子（学芸員）

「まくらじょうようがん枕状溶岩の壁」を含む、地球が造った景観と岩石の展示は、地球内部の熱エネルギー放出による火山活動や地震、大気や流水のはたらきによる風化・浸食作用や堆積作用などによって造られた景観を示し、地球誕生の仕組みを表現しています。

「アンモナイトの壁」の展示では、およそ 1 億 7 千万年前の中生代ジュラ紀中期に大繁栄したアンモナイトや二枚貝などの化石が観察できます。それらはイギリスのドーセット郡、ブリッドポートで採集された化石です。

この他、いんせき隕石や岩石、恐竜の足跡化石、ばんこん板根、はくせい剥製の一部などにも触ることができ、観て、触って、感じて、考える「ハンズ・オン展示」として、来館者に親しんでもらっています。

さらに、展示解説や誘導・案内ボランティアの方々の協力で、小さな子どもたちや目の不自由な来館者にも楽しんでいただけるよう努めています。

当館は「ユニバーサル・ミュージアム」をキャッチフレーズに、「誰にもやさしい博物館」を目指して取り組んでいます。